



# 平成25年度 第4回まなざしキラリ賞

この賞は、子どもを育む4つの場（家庭、地域、企業等、学校等）で、4つの視点（命、自立、他者とのかわり、子どもを取り巻く環境）を基準に「キラリ」と光る取り組みをしている団体や個人を表彰するものです。



## キラリ大賞 <個人の部>

### 多々良一夫（新栄）

平成14年度当時PTA会長で、30周年を契機に国際理解を深めるため日韓交流に係わり、その発展に力を尽くした。また、土曜日の子どもの居場所づくりである「あいわくらぶ」の立ち上げの一人として、小学校や公民館で子どもたちを中心とした活動を行っている。



### 納富 信義（大和）

生活科や総合的な学習で児童が農業体験を行う近所の農家の畑の管理・指導に18年間関わっている。無農薬野菜なので草取りが欠かせず、ほぼ毎日畑通いしている。子どもたちの笑顔を見るたびにやりがいを感じている。



### 坂田 艶子（北川副）

12年間にわたって三世代交流の交通安全教室を開催したり、小学校平和集会では紙芝居や平和講座を開催したりしている。また、ふれあい夏祭り・冬祭りではお手伝いに来た小・中・高校生への昼食の準備、「ふれあい学級」や卒業生との「ぼたもち会」などのふれあい活動を中心になって企画・運営している。



### 馬場 裕子（北川副）

7年前に学校応援団として豊かな体験活動のコーディネートを進め、学校と保護者の円滑な関係作りに力を発揮してきた。また、連合音楽会では児童と地域の音楽愛好会との合唱を企画運営をしたり城南豊夢学園の教育講演会を運営したりするなど学校と連携した地域活動の推進役となって活躍している。



### 水町トシ子（北川副）

18年間にわたり、情操教育のひとつとして「お花をかざろう」の活動では児童対象に生け花の指導をし、出来上がったものを廊下や教室に飾り、花いっぱい学校となっている。また、「ふれあい花壇」活動では、花の球根や苗植え、除草作業をして環境整備に努めている。



### 石丸 一夫（兵庫）

平成12年から兵庫公民館横と兵庫小学校正門を結ぶ横断歩道に立って、子どもたちの安全と安心の見守り活動を行っている。また田植え、稲刈り、昔遊びの指導など情操教育にも常に労力・時間を惜しまず支援している。



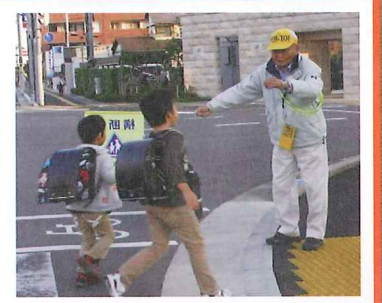
### 福井 邦彦（兵庫）

自治会長をしていた平成15年頃から、ほぼ毎日東中野区内で子どもたちの通学に合わせて通学路を移動しながら安全を見守っている。「子どもたちの笑顔が一日の元気のもとだよ」と、温かい笑顔で子どもたちとあいさつを交わしている。



### 野口 武雄（兵庫）

「ゆめタウン佐賀」開業の年から車の通り抜けが多い通学路にて、ほぼ毎日子どもたちの安全を見守っている。卒業間近の6年生から何枚もお礼のハガキをもらって、今でも宝物として大事にしている。



### 樋口 知子（兵庫）

子どもへのまなざし運動が始まるより前から、東中野区内通学路にてほぼ毎日子どもたちの安全を見守っている。新しい街と旧来の街との交わる地点で車の往来も多く、交通事故の多い地区である。交差点で子どもたちとあいさつするのが元気の源になっている。



### 枝吉トミ子（兵庫）

民生委員を退任したあとも長い間、ほぼ毎日東中野区内の通学路にたつて、子どもたちの安全を見守っている。新しい街と旧来の街との交わる地点で車の往来も多く、交通事故の多い地区である。抜け道の交差点で子どもたちとハイタッチするのが楽しみである。



### 市丸 賢太（若楠）

田や畑の一部を地域の子ども会や学校に開放し、子どもたちが大豆やさつま芋の栽培をしている。また、休耕田に春は菜の花、夏はひまわり、秋はコスモスを植えたり、「わかす」の花文字を作ったりして子どもたちの情操教育に寄与している。



## キラリ賞（個人の部）

## キラリ賞（個人の部）

